

留学体験レポート：アメリカ

国際文化 弦巻 桃

○はじめに

今回の8月23日から12月8日までのアメリカ：UNIVERSITY OF CENTRAL MISSOURIでの留学生生活を項目ごとに紹介します。

○授業

◆READING / WRITING / LISTENING & COMMUNICATION / GRAMMAR◆

授業の大部分はこの4つになります。クラスはレベル別に9クラスに分かれて行いました。もちろん授業は全て英語でしたが、先生たちはいい先生たちばかりで、授業中にジョークを言ったり、分からないところがあると私たちひとり一人と向き合い分からないところを聞くと喜んで応えてくれました。今思えば遅れて授業に参加した私たちがすぐにクラスに馴染めるようになったのも先生たちに恵まれていたからだったように思います。

私たちのクラスには、私たちの他に韓国、サウジアラビア、ヨルダンの生徒がいて、最初は各々の出身によって特有のなまりがあって会話が聞き取りづらかったり、私たちと違った積極的な授業態度に圧倒されたり、戸惑いました。レビティー等を通してかアメリカでは授業中の黙り込む私たち日本人より正解不正解関係なく発言する生徒が評価されるってこのことかと文化の違いを目の当たりにしました。

同じ目標を持つもの同士、彼らともプレゼンテーションやアクティビティーを通して次第に仲良くなることができ、その国特有の文化の違いも面白く感じて楽しかったです。

○食事

食事はほとんど毎日無料で食べられるダイニングホールで食べていました。ハンバーガーやホットドッグなどはもちろん、その他にもメキシカン料理や中華、イタリアン、サラダバーやデザートなどもありました。毎日同じようなものばかり食べていたので味に飽きてしまい、お金はかかりますが近くに行くつか食事のできるお店があったのでそこもよく利用していました。

○寮生活

ダイニングホールから2,3分程度のところのNatt/Bradという寮にルームメイトと2人1部屋でとなりの部屋と共通のバスルームを使って生活しました。私はルームメイトが同じ NUIS 生だったので宿題の相談や連絡事項の確認などがしやすく、生活リズムも似ていたのであまり困ることもなく、ノープランな週末にはアメリカ人の友達にレストランやショッピングに連れて行ってもらったり、外国人の友達とプチ旅行に行ったりして楽しく過ごすことができました。

○イベント

アメリカは日本以上に学内のイベントがたくさんあり、積極的だったように思います。ハロウィーン等の大きなイベントだけでなく、先生たちがわたしたちのような留学生を集めて映画館や博物館、野球の試合、ミュージカル、ショッピングに連れ出してくださったり、大学のアメフトの試合を度々観戦に行ったり、イベントに参加して日本料理を振る舞う機会もあり、いろんな経験をさせていただきました。

○THANKSGIVING BREAK

THANKSGIVING BREAK は家族や友人と食卓を囲みご馳走を楽しむ感謝祭です。ほとんどのアメリカ人たちは寮を出てしばらく家族や友人と過ごします。わたしたちにも約10日の休みが与えられ、学校もダイニングホールも閉まっているので私たちのために先生たちが食事やプランを準備してくれていました。また、アメリカ人のお宅に招待していただいてディナーを一緒にとる機会も何度かあり、貴重な経験をさせていただきました。

私はこの期間にシカゴとカンザスに旅行に行ってきました。シカゴは都会でカンザスは田舎というように人も街並みも全然違ってとても刺激的な旅行でした。

○終わりに

この留学を通しての目的は英語力の向上でした。最初にアメリカに来たときと比べて明らかに変わったことは英語を話すことへの躊躇がなくなり、積極的に使い、向き合えるようになったことが自分でも分かります。英語に対するモチベーションが変わりこれからはもっと頑張ろうと思えたアメリカ留学、参加してよかったです。ありがとうございました。